

2006 年度

科目名 ゼミナールⅡ	対象学科・学年 文学部コミ4回生	担当者 井上 徹
授業テーマ 科学論文へのアプローチ		
授業の概要と目標 卒業研究に向けて、社会調査法や心理統計法などの実証科学的なアプローチを再確認します。さらに各自が取り上げた研究対象に関わる、理論的な背景について理解を深めることをめざします。卒業研究としてまとめ、最後に成果を発表します。		
評価方法 出席状況はもちろんですが、以下の4点を重視して評価します。 1. 専門への努力度 2. 理解への意欲度 3. アルバイトとの差し引き度 4. 将来への期待度 (欠席する場合は事前に必ず連絡すること)		
テキスト 図解アンケート調査と統計解析がわかる本	著者 酒井 隆	出版社 ミネルヴァ書房
参考書 SPSSによる多変量データ解析の手順	著者 石村貞夫	出版社 東京図書
授業スケジュール・内容 [前 期] - ゼミナールⅡへのオリエンテーション 卒業研究論文提出への過程を説明 - 卒業研究への問題提起 (1) 心理学雑誌論文の発表① - 卒業研究への問題提起 (2) 心理学雑誌論文の発表② - 心理学研究法の復習 (1) 量的調査による仮説検証 - 心理学研究法の復習 (2) 質問紙による研究の特色 - 卒業研究への問題提起 (3) 心理学雑誌論文の発表③ - 卒業研究への問題提起 (4) 心理学雑誌論文の発表④ - 心理学研究法の復習 (3) 質問項目の信頼性と妥当性 - 研究方法の確認 (1) 質問項目の収集 - 研究方法の確認 (2) 質問項目の吟味 - 心理統計法の確認 (1) 基本的統計量の復習 - 心理統計法の確認 (2) 多変量解析法① - 心理統計法の確認 (3) 多変量解析法② - 実地調査 (1) データの収集① - 実地調査 (2) データの収集② [後 期] - パソコン統計解析演習 (1) 単純集計、項目分析の手法 - パソコン統計解析演習 (2) データ処理法の検討、SPSSの活用 - パソコン統計解析演習 (3) 多変量解析法、SPSSの活用 - 調査結果分析：個人指導 (1) - 調査結果分析：個人指導 (2) - 調査結果分析：個人指導 (3) - 結果部分についての指導 (1) - 結果部分についての指導 (2) - 結果部分についての指導 (3) - 考察部分についての指導 (1) - 考察部分についての指導 (2) - 考察部分についての指導 (3) - 要約・概要についての指導 - 研究発表についての指導 - 卒業研究発表 さまざまな分析手法を理解することによって、よりスムーズな集計・分析が可能です。		